



上尾市立大谷中学校だより

えごの木

令和8年6月号

〒362-0045上尾市向山4-10

TEL (048)781-9080

<https://www.city.ageo.lg.jp/>

site/oya-juniorhighschool/

発行責任者 校長 山田 正浩



学校教育目標

明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒

ゴールデン・ウィークで・・・

校長 山田 正浩

生徒の皆さん、例年通り、とても感動的な体育祭をありがとうございました。中学生の「本気」に58歳の私は圧倒されました。勝ち負けは時の運です。全クラスを称えたいと思います。

さて生徒の皆さん、ゴールデン・ウィークはどのように過ごしましたか。私は上野にある国立科学博物館の特別展「超危険生物展」に行って参りました。予想はしていたものの大変な混雑……。予約をして入館したのですが、この混雑の様子では中の展示を全部見て回ると数時間かかってしまうと思い、音声ガイダンスを借りて、要所のみ見て回ることにしました。それでも1時間かかりましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

この生物展ですが、自然界の生物がどのように生き延びてきたかを分類しながら分かりやすく展示してありました。例えばキリンやゾウなどの体を大型化させて、他を圧倒してきた「パワーファイター型」、トラやライオンなどの鋭い牙を持ち、他を捕食してきた「キラークロウ型」、コブラやスズメバチなどの体内で毒を生成し、必要に応じて相手を倒す「猛毒型」など8分類されていました。（その他は武装型、大群型、化学攻撃型、電撃型、吸血型です）

私たちも長い歴史においてこの自然界を生き延びてきました。そこで8分類に分けた時、私たち人間はどの分類になるかを考えてみました。

現在において、私たち人類は何にでもなり得る、他の生物から見れば「スーパー超危険生物」と言ったところでしょうか。使い方を間違えれば、人類同士でも危険生物同士で、同じ生物類なのに近寄り難く、危険と思わざる負えない存在になってしまいます。

幸運なことに、ほとんどの場合において日本は隣の友人が「危険な存在」という認識を持ちません。しかしながら「危険」と思ってしまうにはそれなりの理由があります。自分を優先して、他人の生命をなんとも思わないような行動を取る者がいれば、私たち自身も距離を取り、時には諸機関に通報し、隔離してもらいます。もっと身近に考えてみると、他人の気持ちを考えない行動を取る者に対しても距離を取って、関わらないようにします。

人類は本来、その類にみない「知恵」と「コミュニケーション能力」で発展し続けてきたはずなのですが、文明の発達により、様々な（と言うよりはほとんど全ての）「生き延びる術」を獲得してきました。

これから先、皆さんにも「生きるための術」が様々な形で与えられるかと思えます。しかしながら使い方を間違えると他人はもちろん自分も不幸になることを覚えておいてください。他の「超危険生物」たちも自分たちが生き延びるためにのみその能力を使っています。我々人間も与えられた能力は「生き延びるため」のみにしたいものです。（出典 国立上野博物館 「特別展 超危険生物展」）

6月の主な行事予定 [完全下校 17:30]

日	曜	主な行事・予定	日	曜	主な行事・予定
1	月	全校朝会	17	水	修学旅行、学総（水泳）
2	火	⑤⑥3年修学旅行説明会・進路説明会	18	木	修学旅行
3	水	生徒朝会（学総壮行会）	19	金	修学旅行、ふれあいデー
4	木	学総（バド）	20	土	
5	金	学総中心日1、通信陸上県大会1	21	日	
6	土	通信陸上県大会2	22	月	部活動停止期間
7	日		23	火	部活動停止期間 内科検診（2年）
8	月	学総中心日2	24	水	部活動停止期間
9	火	学総中心日3	25	木	部活動停止期間 歯科健診（8：40～）
10	水	学総（野球）	26	金	部活動停止期間 ⑥非行防止教室（1年）
11	木	眼科検診13：15、 第1回大谷中地区生徒指導連絡協議会 14:00～15:00	27	土	
12	金	かがやキッズDAY（学校閉庁）	28	日	開校記念日
13	土		29	月	期末テスト、部活動停止期間
14	日		30	火	月曜日課、期末テスト+月⑤（学活）
15	月	専門委員会	*	*	*****
16	火				

* 5月28日(木)現在の予定です。変更ありましたら、さくら連絡網等でお伝えします。

*

<地域・保護者の皆様へ>

日頃より学校教育活動への御理解・御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。お陰様で例年通り学校も良いスタートをきることができました。

さて先月号の学校だよりでお知らせしました「部活動の地域展開について」と加えまして、皆様に深く御理解・御協力を頂きたいことがあります。

教職員の「働き方改革」については先月号で申し上げた通り、少子化による学校規模の縮小が主な理由でございます。学校規模が縮小することにより、教職員の数も少なくなってきました。また職員の中には「子育て中」真っ只中、また介護せねばならない親族もいる場合があります。さらに研修をしなければならない者もいるのですが、その時間が十分に取れないのが実情です。国や県で定められた「勤務時間」を上回って、働いている者も少なくない中で、学校長は勤務する時間の上限を設定し、厳守するように命じています。持続可能な社会、これから教職員を目指す若い人々にとって必要不可欠な「決まり」と思っております。

そこで地域・保護者の皆様に是非、御理解・御協力いただきたいことがあります。本校では生徒下校後、30分で留守番電話にし、職員には速やかに退勤をするように推進しております。その後生徒の身に不安を感じるがありましたら、ためらうことなく諸機関に御連絡お願いいたします。また三者面談等は勤務時間内に全てが終了するように学校で設定しております。是非、学校教職員のための「働き方改革」に御理解・御協力の程、宜しくをお願いいたします。